

一般社団法人 食育・口腔育成支援センターについて

はじめに

口や歯は、動物が成長し、生きてゆくために不可欠な器官です。当たり前のように食事を摂り生活をしている私たちは、このことをともしれば忘れがちです。口と鼻は、成長し生きるためのエネルギーの源となる食物と酸素を取り入れます。故に、この2つの器官が十分に成長することが他の器官の成長の礎になるのです。成長に栄養は不可欠であり、様々な刺激が重要であることは言うまでもありませんが、それらのためにはまず口と鼻を、食物と酸素、そして感覚の取得のために十分に成長させることが基本となります。

口と鼻は、構造面から見ると一体化したものとなっています。しかし近年、顔面頭蓋と呼ばれるこの部位の成長が劣傾向を示している子ども達が増えています。この部位の健全な育成が子ども達の健やかな成長には不可欠であり、その為には口腔を育成することがたいへん重要な要素となります。

一般社団法人 食育・口腔育成支援センターでは、子ども達の健やかな成長のために顔面頭蓋の健全な成長が不可欠であることをご理解頂き、同時にその基本となる口腔の育成に関し、保護者のみならず、保育に関係する多くの方々をサポートを行う活動を行っています。

組織概要

団体名	一般社団法人 食育・口腔育成支援センター
理事長	目良 誠（歯科医師）
設立の目的	当法人は、真の食育が乳幼児の口腔の健全な成長を促し、口腔の健全な育成、ひいては乳幼児の身体と知能の成長発達に資することを啓発、周知することを目的とする。
講演会の内容	<ul style="list-style-type: none">・ 保護者の皆様に向けた食育・口腔育成講演会・ 保育関係者に向けた口腔育成講演会・ 歯科関係者に向けた口腔育成講演会



理事長ご挨拶 一般社団法人 食育・口腔育成支援センター理事長 目良 誠

少子化とともに子ども達の成長における諸問題は、将来の我が国にとって大変重要な問題だと考えます。豊かさと便利さを追い求めた20世紀の我が国は、その結果として現在、少子化や子ども達を取り巻く様々な問題を表面化させているのかもしれない。

私の手元に昭和40年に撮影されたある保育園の卒園写真があります。モノクロで、不揃いの制服、つぎはぎの衣服。高度経済成長の時代ではありますが、まだまだ日本は貧しかったのでしょうか。しかし、子ども達の顔立ちは逞しく、生きる意欲に溢れていると感じます。当時は子ども達のみならず、大人もそれなりの夢を持っていたと思います。夢を持てること、それは生きる意欲の源です。あれから半世紀、私たちは豊かさや便利さを追い求め多くのモノを手に入れました。しかし、今この社会に夢は溢れているのでしょうか。

食すること、そして口腔は、生きるために必要不可欠な行為であり器官です。

「逞しく生きてみませんか」

そのような活動を今一度始めてみたいと思います。

私には夢があります。それは、子ども達が夢を持つ社会が再びこの日本に現れることです。

逞しく、夢を持つ子どもに育てよう、それが一般社団法人 食育・口腔育成支援センターの目的です。